釧路	 张工業高等		開講年度 令和03年度 (20	021年度)	授業	養科目	 英語コミュニケーション		
科目基礎		, ,,, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	13213 12 12 12 12		, ,,,,,				
科目番号 0107				科目区分		一般 / 必修			
授業形態		講義		単位の種別と単位	位数 履修単位: 1		1		
開設学科電子工学分				対象学年	5				
開設期通年				週時間数	1				
教科書/教	材	(Press)R	k: New Headway Pre-intermediate(4 eferences: Practical English Usage: N Carthy+ O'Dell (Cambridge University	1ichael Swan (C	xford U	Soars (O niversity I	Press)English Vocabulary in		
担当教員		スティー	·ブ グッド,林 幸利,エリック ローズ						
到達目標									
n real-lif	e situatior		nglish language learned to date, givin	ng students the	ability a	nd confid	ence to communicate in English		
レーブリ	<u> </u>								
			理想的な到達レベルの目安(優) 標準的な到達レ						
平価項目1	l		To be able to establish natural communication in English.	To be able to establish communication in Eng given some hints or su		lish if communication in English if			
学科の至	達日標	 項目との関		g., c., cc., c		<u> </u>	jaran sama imite er suggestier		
	育到達度目 ⁷								
教育方法	 去等								
既要		To have	ote an awareness, understanding and tolerance of foreign cultures. the students realize the importance of communication skills and strategies in language learning. participation in class. Notebook, pen and textbook. Try to use English as much as possible in class.						
受業の進め	め方・方法	comr	ng criteria is 60% of the oral test (int efore each test.) And final grade is d munication skills component 30%. C ear English is relevant to this class	erview).(A deta lecided by the c On retesting, the	iled des oral test e passin	cription a 70% and g criteria	nd distribution of scores will be the classroom participation and is 60%.		
主意点			this chance to speak and experiment	with English in	a frienc	lly and re	laxed atmosphere.		
受業の原	属性・履何	多上の区分)						
」 アクテ	-ィブラーニ	ニング	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	-		□ 実務経験のある教員による授		
受業計画	<u> </u>	1							
		週	授業内容		週ごとの到達目標				
		1週	Simple Present Tense + Present Tense (1)	Continuous	Describing regular activities. Asking simple questions. Talking about things you like to do.				
前期	1stQ	2週	Simple Present Tense + Present Continuous Tense (2)			Describing regular activities. Asking simple questions. Talking about things you like to do.			
		3週	Simple Past Tense + Past Con (1)	tinuous Tense	Reporting past activities. Describing a trip or telling a story.				
		4週	Simple Past Tense + Past Con (2)	tinuous Tense	Reporting past activities. Describing a trip or telling a story.				
		5週	Simple Past Tense + Past Con (3)	tinuous Tense	Reporting past activities. Describing a trip or telling a story.				
		6週	Much and many / some and any	(1)	Talking about food. Making offers and requests.				
		7週	Much and many / some and any (2)			Talking about food. Making offers and requests.			
		8週	前期中間試験を実施する		9	2.2 4.1	4		
		9週		ant to /	Describ Doubt a Phrasal	and certai	e plans and intentions. nty.		
	2ndQ	10週	Future. Going to, will + W hope to (2)	ant to /	Describ	ing future and certai	e plans and intentions. nty.		
		11週	Comparatives / superlatives (1)		Compar Giving y Talking	ring Thing our opini	on. ur hometown.		
		12週	Comparatives / superlatives (2)		Giving y Talking	our opini	on. ur hometown.		
		13週	Comparatives / superlatives (3)		Talking	our opini about yo suggestic	ur hometown.		
		14週	Present Perfect Tense. + For + Ever and never. (1)	For and since			vith "isn't it ?", "don't you?" etc.		
		15週	+ Ever and never. (2)	and since.	Questio	ns tags w	rith "isn't it ?", "don't you?" etc.		
		16週	前期期末試験を実施する						

### Present Perfect Continuous (1) ### will you do? ###			1週	Have to / s	ould / must (1) Medical symptoms. What things are made of. Clothes and accessories.	things are made of.			
3rdQ	後期		2週	Have to / s	ould / must (2) What things are made of.	What things are made of.			
4週		- 1-	3週		nse + Joining sentences Talking about feelings, an	d exclamations.			
5週		3rdQ	4週		nse + Joining sentences Talking about feelings, an	Talking about feelings, and exclamations.			
6週			5週	Past Perfect T	nse + Joining sentences Talking about feelings, an	Talking about feelings, and exclamations.			
後期 後期中間試験を実施する				Passives (1)					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						Saying numbers and amounts.			
How long?			1	How long?	. Cines and for	Discussing durations			
### Present Perfect Continuous (1) Review of all tenses. Responding to good news and bad news. Review of all tenses. Responding to good news and bad news. Review of all tenses. Responding to good news and bad news. Responding to good news and bad news. Review of all tenses. Responding to good news and bad news. Review of all tenses. Responding to good news and bad news. What would you do?			10週	How long?	low long? + Since and for Discussing durations				
4thQ 12週 Present Perfect Continuous (2) Review of all tenses. Responding to good news and bad news. 13週 Present Perfect Continuous (3) Review of all tenses. Responding to good news and bad news. 14週 Using conditionals with "if". (1) What will you do? What would you do? 15週 Using conditionals with "if". (2) What would you do? What would you do? 16週 後期期未試験を実施する 日後期内容と到達目標 日後期内容と到達目標 日後期内容の到達目標 日後期内容と到達目標 日後期内容の到達目標 日後期内容の到達目標 日後期内容の到達目標 日後期内容の到達目標 日後期内容の可能を			11週	,					
13週		4thO	12週	Present Perfec	Review of all tenses.				
15週		rang	13週	Present Perfec	Review of all tenses.	Review of all tenses.			
15週 Using conditionals with "if". (2) What will you do? What would you do? 16週 後期期末試験を実施する			14週	Using condition					
16週 後期期末試験を実施する モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 一			15週	Using condition	What will you do?				
分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 関き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切が連用ができる。 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。 不易な英語で書かれた文章を奇分100語程度の速度で聞き手に伝わる 3 3 3 3 3 3 3 3 3			16週	後期期末試験を	•				
関き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 平男な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報	モデルコ	アカリキ	ニュラム	の学習内容と至	達目標				
	分類	_	分野	学習内容		到達レベル 授業週			
英語運用の 基礎となる 知識 一学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた 大文法や文構造を習得して適切に運用できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではつきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報なる。					聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3			
知識 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適 3 切な運用ができる。 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じ 3 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3 現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる 3 ように音読ができる。 ア易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 3				英語運用	₎ クセントの規則を習得して適切に運用できる。	3			
た文法や文構造を習得して適切に運用できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報なる。				基礎とな 知識 	新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適	3			
りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 3 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。 英語運用能 カの基礎固 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 3	基礎的能力				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3			
日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 本方に音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報ない。					りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 3				
英語運用能 力の基礎固ように音読ができる。3コート 中場は英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 できる。					日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表	3			
カの基礎国 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 3					トンに辛詰ができる	3			
				力の基礎	□ 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報	3			
日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 3						3			
基礎的能力 人文・社会 英語 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 3			t会 英語		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3			
実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。					実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3			
自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把 3 握し、情報を聞き取ることができる。					する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把	3			
英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して 、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などがで する。					英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3			
英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、 学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる 3 英語運用能 。				英語運用能		3			
カ向上のた めの学習				力向上の	- 	3			
関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフラ イティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。					関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフラ	3			
関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など 3 のやりとりができる。					平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など	3			
関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。					関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル	3			

	英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。								
実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーシ (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返し 切に用いることができる。				コミュニケーショ 用表現、聞き返しな	ン方略 など)を適 3				
評価割合									
	試験	多	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70)	0	30	0	0	100	
基礎的能力	70)	0	30	0	0	100	
専門的能力	0		0 0		0	0	0	0	
分野横断的能力	0)	0	0	0	0	0	